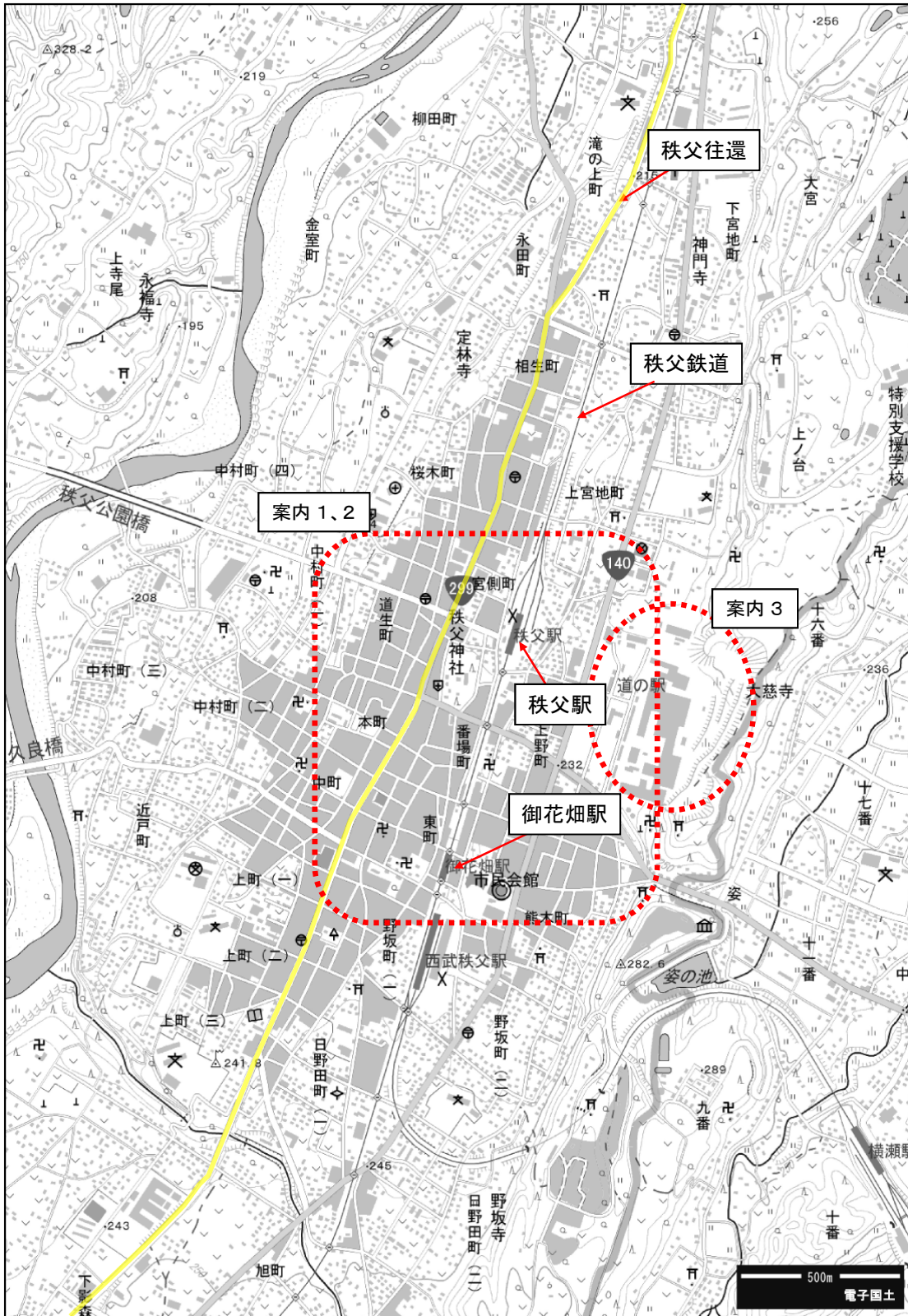


秩父



凡例

案内図



調査範囲

秩父



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

秩父



配置図

凡例

- ◆ 史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他

秩父



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

秩父

秩父銘仙出張所



豊かな自然と深い歴史を併せもつ“ちかいなか”秩父。年間を通して楽しむことのできる花々、武甲山のおいしい湧き水、のどかな山路を歩く34ヶ所巡礼、秩父の夜景と観光地として見所が満載。また、秩父銘仙は明治中期から織物工業として隆盛を誇り、現在でも街のそこかしこに往時の面影を残している。鉄道が開通してから秩父市の産業は急加速され、繊維業、武甲山石灰石採掘によるセメント業、農林業が秩父地方の経済を今もなお支えている。

(写真は買継商通り付近)

1

酒造



店舗部分が国の登録有形文化財。敷地内の井戸から汲む仕込水は“平成の水100選”に選定された武甲伏流水。秩父市指定の防火用水でもある。

2

店舗



街道からひときわ目を引く大きな提灯と唐子人形が目印の提灯店。主に秩父夜祭の提灯を作成しているが、オリジナルの提灯も作ってもらえる。

3

秩父館



明治初期から商人宿として使われていた建物を修繕し、観光施設として使われ地域の人たちのコミュニティの場としても広く開放している。

4

旧秩父国際劇場



東京浅草にあった国際劇場を模した外観はモダンで存在感がある。劇場、映画館として長く愛されてきたが、昭和58年に閉館。近く取り壊しが決まっている。

5

住宅



秩父国際劇場の所有者の自邸。タイルやステンドグラスを使い、なまこ壁も取り入れたレトロで素敵な建物。

6

店舗



古くから蕎麦の産地だった秩父には蕎麦屋が数多く存在している。この蕎麦屋は古民家を改築した店舗で、ノスタルジックな雰囲気が店内へといざなう。

7	石堀のある通り	8	秩父ふるさと館	9	びいどろ美術館
					
<p>市街地の角地、屋敷の北辺りを画する立派な石堀がある。全長30mはあるであろうか。傾斜は玉石積で処理され、当時の職人の高い技術は憧憬の的であったと思われる。</p>		<p>国指定登録有形文化財。大正から昭和初期に建てられた秩父銘仙の間屋。店舗兼母屋と、3棟の土蔵からなる立派な建物は石堀も一見の価値あり。現在は、農産物の販売と手打ち蕎麦屋さんが営業している。</p>		<p>『びいどろ』と呼ばれる江戸時代のガラス工芸を展示する個人の美術館。建物は歴史ある秩父の町屋を再生・活用した。正面に『袖うだつ』をあげている。</p>	
10	街かどギャラリー	11	店舗	12	蔵
					
<p>この一角も歴史深い建物が並ぶ。角の町家は『街かどギャラリー』として、再生・活用されている。</p>		<p>『街かどギャラリー』の並びに趣深い一軒。老舗の蕎麦屋がある。今も貴重な建物を維持している。</p>		<p>銘仙問屋の倉庫建築。蔦で絡みついたものなど古い蔵が点在。ギャラリーとして活用されている蔵のしっとりとした空気感が多くの人に喜ばれている。</p>	
13	酒造	14	13番札所 慈眼寺	15	病院
					
<p>寛延2年創業の矢尾酒造。店舗の裏にはまだ木造の倉庫がある。</p>		<p>明治11年秩父大火後に再建。小さいながらも大胆な反りの屋根や、彫刻の数々は素晴らしい。その名の通り眼がよくなるというご利益があり、参拝客の絶え間がない。</p>		<p>日本瓦の屋根が粹で立派な洋風木造建築。</p>	

16	馬場通り商店街	17	店舗			18	店舗		<p>秩父神社の参道。 敷石が敷かれた通りに古い商店が軒を連ねる。</p>	<p>大正6年創業 秩父の特産品である肉の味噌漬を販売している。 秩父では古くから保存食として山で獲れた色々な肉を味噌漬にしていたそうだ。</p>	<p>国の登録有形文化財。 昭和初期建築の建物は、窓周りの縁取りなど、随所に凝った装飾が見られる。</p>
19	店舗	20	病院			21	住宅	<p>国の登録有形文化財。 大きな金文字が目を引く、レトロな街の洋食屋さん。</p>	<p>明治36年開業の医院は、外観に当時の面影を残す木造洋館。 かわいらしい植栽が目を引く。 外観のみ見学可。</p>	<p>国の登録有形文化財。 昭和5年建築 背の高い豊かな植栽の向こうに佇む立派な屋敷。 少し洋風の落ち着いた瓦葺和風住宅。外観のみ見学可。</p>	
22	住宅	23	秩父神社			24	買継商通り	<p>国の登録有形文化財。 秩父神社の宮司職を務める方の住宅。表門と、格式のある母屋が見ごたえ十分。外観のみ見学可。</p>	<p>秩父の総社として柞之杜に静まる古社。 創建は2千有余年前といわれている。 権現造りの社殿には、極彩色の彫刻が施され、名工 左甚五郎作の『つなぎ龍』、『子育て宝の虎』は有名。</p>	<p>織物工場で生産した製品を全国の問屋へ販売、出荷する商店を江戸後期に買継商と呼んだ。 この辺りはその集まった買継商を囲み織物工場の出張所が軒を連ねた。別名・出張所横町といい、今でも当時の面影を残している。</p>	

25	本町公会堂	26	住宅				病院
<p>今も現役の公民館は時代を感じさせる木造洋風建築。外壁のお化粧直しが何度か施されており、地域の方たちに大切にされている様子がうかがわれる。</p>		<p>馬場町の黒門通りは買継商通りの東隣りを流れる。共にレトロ調の残る界限。当時の雰囲気のある懐かしい建物は、国の有形文化財に指定され、現在も人気のカフェや蕎麦屋として活躍している。</p>		<p>番場通りから黒門通りを結ぶ横丁に建つ歯科医院。ハーフティンバーや縦長の上げ下げ窓を用いるなど、西洋の意匠が取り込まれている。</p>			
28	店舗	29	お諏訪様				秩父銘仙出張所
<p>老舗の割烹は、うなぎ料理が評判。ご主人の人柄とともにお客様に長く愛されている。</p>		<p>武甲山の男神様の本妻といわれる。秩父夜祭は妙見様と武甲山の男神様が年に一度の逢瀬に出かける祭り。祭りでは、このお諏訪様に敬意を表し、社の前ではおはやしを止めて静かに進む「お諏訪渡り」と呼ばれる神事が行われる。</p>		<p>大正から昭和初期、近在近郷の織物工場が製品を取引をするために”買継商通り”や”黒門通り”に出張所が建ち並んだ。</p>			
31	秩父銘仙出張所	32	風の小路				住宅
<p>現在はお洒落なカフェだが、当初は秩父銘仙取引の出張所として建てられたもの。周囲に残る旧出張所と共に秩父銘仙でにぎわったかつての商業地区の景観の一端を今に伝えている。</p>		<p>風の小路と名付けられた小さな道は秩父銘仙出張所の間を通る。風と共に通り抜けたくなる小路。</p>		<p>秩父往還を本町交差点のシンボルの建築物の秩父ふるさと館をみて西に折れると、また情緒深い空気感漂う曲輪がはじまる。ひととき素敵な木造住宅はやはり時代がよみがえるほどの存在感で、大切に使われている様子がうかがえる。</p>			

34	住宅	35	店舗	36	店舗
			<p>この辺りはかつて花街があり、今も残る料亭などの建物がかつての賑わいを想像させる。現在はヨガ教室として利用されている。のれんにはエキゾチックな印があり、玄関の装飾の施されたガラスと相性が良い。</p>	<p>飲食店。 現在は閉店している。</p>	<p>家紋を染め抜いた暖簾も鮮やかな店構えは老舗和風旅館のような佇まい。 秩父豚を秘伝の熟成手作り味噌に漬けた豚肉味噌漬は、秩父土産の定番。</p>
37	亀の小石	38	ちちぶ銘仙館	39	御花畑駅
			<p>秩父夜祭のクライマックス、6基の笠鉾・屋台が集まる広場に鎮座するシュールな顔の亀の小石。担がれた神輿はココで降ろされる。</p>	<p>国の登録有形文化財。 古くから秩父は『知々夫絹』として絹の産地だった。 秩父銘仙の染め織物の展示、即売、歴史の紹介のほか、染め織りの体験もできる。</p>	<p>国の登録有形文化財 大正6年に建てられた木造平屋建て。波形石綿スレート葺き屋根の小さな駅舎は、昔も今も大活躍。</p>
40	武甲山	41	ちちぶの水	42	有恒神社
			<p>秩父の街からすぐに拝することができる奥武蔵の雄、大正初期より石灰岩の採掘が始まった武甲山。国の経済が今も発展を続け、それに反比例するように山は削られ、少しずつ低くなる。</p>	<p>ちちぶ道の駅に“ちちぶの水”～わがまちの水道～がある。大正13年埼玉県下で最初に建設された浄水場からの配水、浦山川と武甲山の地下水を水源としている。緩速ろ過方式を固守し「味が良い」と、市民からも好評で、ちちぶの誇りのひとつにもなっている。</p>	<p>道の駅を裏手に廻ったところに、有恒神社がある。鳥居が木造、本堂拝殿には木製の柵がなされている。隣接する社務所も木造で装飾的な魅力ある建物である。</p>